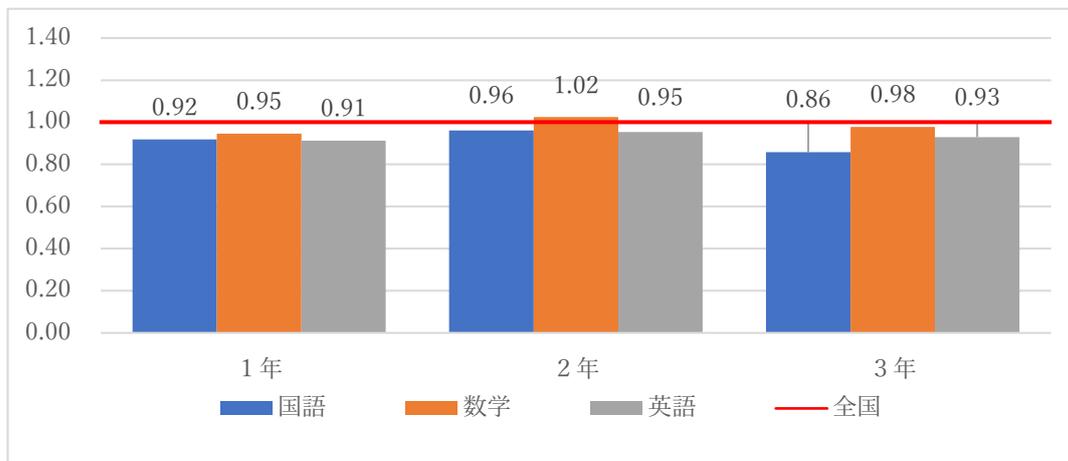


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第九中学校区 第九中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「読むこと」領域は目標値と同程度もしくは上回っている反面、「書くこと」領域は下回っている。授業で書く機会を増やすと共に「どのように書くか」という手順を具体的に示した指導を心がける。
	数学	1年生は「小数・分数の計算」「データの活用」で目標値を上回ったが、「知識・技能」の定着に課題が見られるため、計算練習を繰り返し、基礎学力の定着を目指す。2年生は「平面図形」「データの分布の傾向」で目標値を下回った。文章や図から必要な情報を読み取る力をつけさせていく。
	英語	「主体的に学習に取り組む態度」が最も全国値に近く、授業内での言語活動を通して、学習への意欲となる素地が養われている。今後も、言語活動を軸とした授業づくりを推進していく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「話すこと・聞くこと」領域において定着が見られた。今後もスピーチや聞き取りテスト、また、教科横断的学習において、その力を伸ばしていく。
	数学	応用問題についての無解答率や、「関数」領域に課題が見られる。関数についての意味理解を定着させ、考えて表現する力を育てていく。
	英語	「話すこと」調査において、全設問の無解答率が全国値と比べ低く、粘り強く自分の考え等を伝えようとする態度の育成が図られている。今後もペア学習等を取り入れ、話す力の育成を図っていく。
	質問紙	「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に、「30分より少ない」または「全くしない」と回答した生徒の割合が全国比2倍以上あり、引き続き家庭学習習慣の定着を図っていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

話をしっかりと聞く力・自分の思いや考えを話す力を大切にして、ディベート教育、教科教育に取り組むとともに、論理的・客観的・多角的思考を培い、考える力の育成を進めている。

ねやがわスタンダードを基に、学習規律の徹底を校区教員で進め、小中9年間で児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、がんばっている姿・良いところを褒めて、自己肯定感を高めていく取組を進めている。

【 学校 】

「授業に集中、授業で勝負」をスローガンに、主体的・対話的で深い学びを実現する。九中ボジティブプロジェクト（PBIS）を通じた「真剣に授業に取り組む校風」の醸成や、授業交流週間を行い、同僚性を高めながら、教員が相互に指導法を研鑽し合う。